

Brush Up Letter

2020年8月
Vol.31

D&Nplus ブラッシュアップセンターは、妊娠期から職場復帰、子育て期・介護期の医療職者をサポートします



Contents

- キャリアカフェ第15回 イクメンドクターミーティング
- マタニティ白衣のご案内
- 育児・介護復職者支援短時間勤務非常勤医員のご案内



キャリアカフェ第15回 イクメンドクターミーティング

日時 7月29日(水) 12:00-13:00

講師 糖尿病・内分泌内科 特定助教 病棟医長
山本 雅昭 先生

テーマ もうイクメンって呼ばないで
～ With コロナで変わる子育ての“new normal”とは?～



WEB 会議システム KUMEX を利用した初取組。5年間のアメリカ留学を終えて昨春、帰国された山本先生に「日米の家事・育児の考えや取り組みの違い」「これから変化する子育ての“new normal”」についてお話しいただきました。以下、その内容の一部をご紹介します。



～我が家の状況～

小児科医の妻、8歳・6歳・0歳男児3人の5人家族。緊急事態宣言解除後の小学校再開時期と妻の三男里帰り出産が重なったことで、急遽、長男と次男のワンオペ育児を経験することに。

～アメリカの家事情形～

アメリカでは女性に高い家事スキルを求めないことが日本との大きな違い。家族でできる人が対応し、できなければお金を払ってやってもらう。家事でストレスを溜めないようにしている。

～家事はもっと適当で～

日本の母親は母性神話を背景に育児・家事を完璧にこなす母親像を崇拝する文化がまだまだ根強い。その弊害により社会全体が育児・家事に対するハードルを上げ過ぎて、夫や他者の協力が得られにくいという側面もある。世間では夫にやってもらわない方が助かるという女性も多いが、ある程度寛容な気持ちで男性の家事を受け止めてもらえたら。

～家族とは～

親・子どもの立場ではなく家族はひとつのチーム。子供であっても家族の一員であり、協力してもらわないと生活はまわらないと説明している。親は子どもの前では手本として立派で完璧な人間であるべきという考えがあるが、親であっても一人の弱き人間に過ぎない。子どもと問題や悩みを共有することで、思いがけず良いアドバイスをくれることもあり、「自分たちが頼りにされている存在」だと子どもにも自覚してもらえらる。立場関係なく、ひとりの人間としてお互い助け合う気持ちを大切にしてほしい、と伝えたい。

～子どもが小学校でもらってきたお知らせ文書から感じたこと～

「算数の問題に苦戦する女兒に隣席の男児が助け船を出したが、その女兒は解けなかった悔しさから泣いてしまった。」親切心からの行動でも「いじめ」になります、という警告書だった。学校では他者とのコミュニケーションに悩みを抱える子供たちも少なくない。「女兒が泣いた」という結果のみに着目し男児の善意に価値を見出すことができなければ、益々人との関わりは希薄になるだろう。アメリカは色々な文化的背景を持ち、国籍も背負う文化も様々なのでシンプルに「困っている人を助けなさい」と幼少期から教えられる。「善きサマリア人の法」により、結果的にうまく行かなくても善意に基づいた行動に対しては罪に問わない。その場の空気と招いた結果によって、正しさの意味が変化する複雑な文化が、日本人の子育てを難しくしているのかもしれない。

～ With コロナで変わる子育ての“new normal”～

加速するWEB化への取り組みは、働き方改革につながり、子育て世帯にとっても朗報だ。これまで平日夜の講演会や宿泊を伴う出張の場合、夫婦どちらかがワンオペ育児を担い、残された者に負担が偏る。それが解消されるなら新しい生活様式の意義は大きい。また、これまで育児のために学会や講演会に参加できなかった子育て医師も平等に学びの機会が得られるこのチャンスは、大いに歓迎すべきである。

～結論～

ママがやってもパパがやっても育児は大変。親も子供も「One for All, All for One」ワンチームで肩の力を抜いて助け合うことで、コロナ禍を少しでも楽な気持ちで子供に向き合ってもらえたら。



マタニティ白衣 レンタルサービスのご案内

おなか
が目立ってきたら

当院に勤務する妊娠中の女性医師を対象としたマタニティ白衣・スクラブ上下の無料貸出サービスを2020年4月から実施しています。単品でも上下セットでも、ご希望に合わせてご利用いただけます。詳細については、当センターまでお問合せください。

【レンタル方法】

- 1 HPで申込書をダウンロード
メール又は院内便で申込
- 2 在庫状況を確認後
【受付完了】を通知
- 3 当センターで受取



お一人
2着貸出

レンタル
無料

試着OK

白衣とスクラブ
両方でもOK

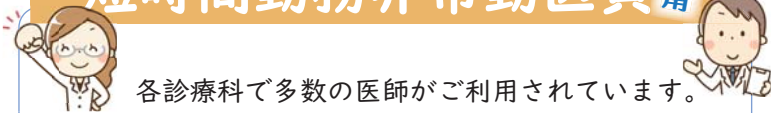
スクラブのみ
パンツのみ
OK

育休からの
復帰には

医師の職場復帰支援制度

育児・介護復職者支援 短時間勤務非常勤医員

随時募集・随時採用



各診療科で多数の医師がご利用されています。本制度は、育児休業等からの復帰にあたり、キャリアを中断することなく仕事と家庭のスムーズな両立のための当センター独自の医師の職場復帰支援制度です。本制度を利用した復職が次へのステップアップとなるような橋渡し役の位置付けとなっています。お子さんお一人につき、小学校就学までの3年間、週20～30時間以内でご利用いただけます。

現在、ご利用中の診療科は以下のとおりです。今年度の定員には余裕がありますので、ぜひご応募ください。

循環器内科、消化器内科、放射線診断・IVR科、眼科
腫瘍・血液内科、皮膚科、緩和支援診療科、整形外科

～今後の予定～

コロナ禍中、開催すら危ぶまれていたキャリアカフェが、WEB会議システムを利用して実施することができました。次回以降については、状況を見極めながら実施する予定です。詳細は、当センターのホームページやポスター等でお知らせしますので、その際はぜひ、ご参加ください。

レンタルサービスをご利用された腫瘍血液内科の後藤慶子先生と緩和支援診療科の伊藤まどか先生から、ご利用後の感想をご寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。

【腫瘍血液内科 後藤慶子 医師】

この度、妊娠6、7か月の短い期間でしたが、マタニティ白衣のレンタルを利用させていただきました。

昨年度まで研究室に所属しており、病棟復帰前に産休・育休関連の情報収集をしている際に、たまたまブラッシュアップセンターのホームページでレンタル制度の事を知りました。マタニティ用のスクラブ上下や白衣を全て自前で用意すると、それなりの価格になりますので、この制度は大変ありがたかったです。

各々最大2着ずつまでお借りして、それ以外は大きめのスクラブを数枚自前で用意したり、マタニティ用の黒いボトムスを使用して補っていました。サイズはMLの2サイズですが、身長170cmの私でもLサイズは大きかったため、ほとんどの方はMサイズが良いのではないかと思います。

マタニティ白衣は一時的にしか利用しないものなので、ぜひ多くの方にこの制度を活用していただきたいと思いました。

【緩和支援診療科 伊藤まどか 医師】

今年度から白衣・スクラブのレンタルができると聞き、白衣のみ利用させて頂きました。スクラブは上の子の時に買っていたので使用しませんでした。そういうシステムがあれば買わずに済んだと思います。今回スクラブは上の子の時のを使い、白衣はレンタルできたので、お腹が大きくなってきても白衣を綺麗に着ることができ、とても助かりました。

改善点としては、クリーニングから帰ってくる期間が1週間くらいかかるので、各2枚ずつとなっておりますが、スクラブなどはもう少し枚数があった方が利用しやすいのではないかと思います。

結婚出産して離職する人もいる中、このように働きやすい環境やシステムなどが整えば、何らかの形で仕事を続けたいと思う女性は多いと考えます。今後も給料や休みの体制などを含め、色々な試行錯誤を重ねて頂ければ幸いです。

【編集・発行】

神戸大学医学部附属病院 D&Nplus ブラッシュアップセンター
〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階
TEL: 078-382-5266 / FAX: 078-382-5837
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp HP: http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/